改訂版「中学校数学３」

学習内容一覧表

本資料は，改訂版 「中学校数学３」に基づいて，学校での授業と学校の授業以外の場において取り組む学習活動を併用してご指導いただく場合の学習指導計画案を示したものです。

学校の授業以外の場において取り組む学習活動を，出来るだけ多く取り入れる場合を想定して作成しました。本資料を一例とし，地域・学校の状況に合わせて，適宜，学校の授業以外の場において取り組む学習活動を増減いただくなどしてご活用ください。

第1章　式の計算 2

第2章　平方根 4

第3章　2次方程式 5

第4章　関数 y＝ax2 6

第5章　相似 7

第6章　円 9

第7章　三平方の定理 10

第8章　標本調査 11

●本資料では，知識や技能を習得するための指導や，数学的活動を通して思考力・判断力・表現力を養うための指導は，これまでと同様に主に授業で行うことを想定しています。

●学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる主な学習活動は，次の通りです。

(1) 予習として取り組み，学習内容への見通しをもつための活動

(例)各章の「章とびら」

(2) 既習内容を定着させるための演習を主とする活動

(例)各節の終わりにある「確認問題」

各章の終わりにある「基本問題」「章の問題Ａ」

(3) 既習内容を発展・活用させた内容の学習に取り組み，更なる学力向上を目指す活動

(例)各章の終わりにある「章の問題Ｂ」

コラム的な内容である「やってみよう」「考えよう」

発展的な学習内容である「発展」

(1)は，予習として取り組むことで，貴重な授業での学びをより深いものにすることができます。

(2)は，取り組むことによって習熟度が高まると同時に，習熟度が低い箇所を特定することで，以後の授業での学びの効率化を図ることができます。授業での問いかけやノートの点検などで，多くの生徒が苦手とする内容を把握し，授業での指導内容に反映させることが望ましいです。

(3)は，場合によっては，生徒の習熟度に合わせて個別に取り組ませる内容です。特に，習熟度の高い生徒の学力や学習への意欲を向上させることが期待されます。

第１章「式の計算」

（配当時間**19時間**）　学校の授業：**1５.9時間**，学校の授業以外の場での学習：**3.1時間**

① 多項式の計算〔7時間〕　学校の授業：**6.2時間**，学校の授業以外での学習：**0.8時間**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 該当頁 | 学習内容 | 配当時数（そのうち授業が必要な時数） | 学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動とその時数 |
| 章とびら | p.14，15 |  | 2**（1.7）** | p.14，15は予習で取り組み，学習内容の見通しをもつ。**【0.3 時間】** |
| 単項式と多項式の乗法，除法 | p.16，17 | 単項式と多項式の乗法多項式を単項式でわる除法かっこをふくむ式の計算 |
| 多項式の乗法 | p.18，19 | 分配法則による展開2項×2項の展開2項×2項の展開（同類項をまとめる）2項と3項の積の展開 | 1**（1）** |  |
| 展開の公式 | p.20～25 | (x＋a)(x＋b) の展開(x＋a)2，(x－a)2 の展開(x＋a)(x－a) の展開展開の公式のまとめ | 4**（3.5）** | p.23「やってみよう」は，生徒の習熟度に応じて，個別に取り組むことが可能。p.25「確かめよう」に事前に取り組み，わからない問題を特定しておく。**【0.5 時間】** |
| p.23 | やってみよう |
|  | 展開の公式を使ったいろいろな式の展開おきかえによる展開展開の公式を組み合わせて使う計算 |
| 確かめよう | p.25 | 節末の確認問題 |

② 因数分解〔6時間〕　学校の授業：**５．５時間**，学校の授業以外での学習：**０．５時間**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 因数分解 | p.26，27 | 因数と因数分解の意味共通な因数でくくる因数分解 | 1**（1）** |  |
| 因数分解の公式 | p.28～33 | x2＋(a＋b)x＋ab の因数分解x2＋2ax＋a2，x2－2ax＋a2 の因数分解x2－a2 の因数分解因数分解の公式のまとめ最初に共通な因数をくくる因数分解1つの文字とみて公式を利用する因数分解おきかえによる因数分解 | 5**（4.5）** | p.33「確かめよう」に事前に取り組み，わからない問題を特定しておく。**【0.5 時間】** |
| 確かめよう | p.33 | 節末の確認問題 |

③ 式の計算の利用〔3時間〕　学校の授業：**2.7時間**，学校の授業以外での学習：**0.3時間**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 式の計算の利用 | p.34～3６ | 展開や因数分解の公式を使った計算のくふう複雑な式に代入するときの式の値連続する奇数や整数に関する問題円形や長方形の土地の周りの道に関する問題 | 3**（2.7）** | p.37「やってみよう」は，生徒の習熟度に応じて，個別に取り組むことが可能。**【0.3 時間】** |
| p.37 | やってみよう |

④ 素因数分解〔1時間〕　学校の授業：**1時間**，学校の授業以外での学習：**0時間**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 素因数分解 | p.38，39 | 因数，素数，素因数の意味素因数分解する方法自然数の平方と因数分解 | 1**（1）** |  |

章末〔2時間〕　学校の授業：**０．５時間**，学校の授業以外での学習：**１．５時間**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | p.40 | 基本問題 | 2**（０．５）** | p.40「基本問題」を学校の授業以外の場での学習で取り組む。p.41「章の問題A」に事前に取り組み，わからない問題を特定しておく。p.42,43「章の問題B」「やってみよう」は，生徒の習熟度に応じて，個別に取り組むことが可能。**【1.5 時間】** |
| p.41 | 第1章の問題A |
| p.42 | 第1章の問題B |
| p.43 | やってみよう |

第２章「平方根」

（配当時間**15時間**）　学校の授業：**10.5時間**，学校の授業以外の場での学習：**4.5時間**

① 平方根〔5時間〕　学校の授業：**3.5時間**，学校の授業以外での学習：**1.5時間**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 該当頁 | 学習内容 | 配当時数（そのうち授業が必要な時数） | 学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動とその時数 |
| 章とびら | p.44，45 |  | 3**（2.5）** | p.44，45は予習で取り組み，学習内容の見通しをもつ。**【0.5 時間】** |
| 平方根 | p.46～50 | 平方根の定義根号の記号の意味と使い方(√a)2＝a，(－√a) 2＝a根号のはずし方平方根の大小 |
| 平方根の値 | p.51，５２ | 平方根の値電卓を使って平方根の近似値を求める小数を分数で表す有理数と無理数の意味 | 2**（1）** | p.53「やってみよう」は，生徒の習熟度に応じて，個別に取り組むことが可能。p.54「確かめよう」に事前に取り組み，わからない問題を特定しておく。**【1 時間】** |
| p.53 | やってみよう |
| 確かめよう | p.54 | 節末の確認問題 |

② 根号をふくむ式の計算〔8時間〕　学校の授業：**6.5時間**，学校の授業以外での学習：**1.5時間**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 根号をふくむ式の乗法と除法 | p.55～61 | 平方根の積と商√aの形に表す根号の中を簡単にする根号の中を素因数分解してa√bの形にする根号をふくむ式の乗法分母の有理化平方根の除法と有理化平方根の近似値 | 3**（3）** |  |
| 根号をふくむ式の加法と減法 | p.62，63 | √の中が同じ数の和と差根号をふくむ式の加法と減法√の中を整理して計算する分母の有理化と加法 | 2**（2）** |  |
| いろいろな計算 | p.64，６５ | 分配法則と根号をふくむ式の計算展開の公式を利用した計算根号をふくむ式の値 | 3**（1.5）** | p.66「確かめよう」に事前に取り組み，わからない問題を特定しておく。p.67「やってみよう」は，生徒の習熟度に応じて，個別に取り組むことが可能。**【1.5 時間】** |
| 確かめよう | p.66 | 節末の確認問題 |
|  | p.６７ | やってみよう |

章末〔2時間〕　学校の授業：**０.5時間**，学校の授業以外での学習：**1.5時間**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | p.68 | 基本問題 | 2**（０．５）** | p.68「基本問題」を学校の授業以外の場での学習で取り組む。p.69「章の問題A」に事前に取り組み，わからない問題を特定しておく。p.70,71「章の問題B」「発展」は，生徒の習熟度に応じて，個別に取り組むことが可能。**【1.5 時間】** |
| p.69 | 第2章の問題A |
| p.70 | 第2章の問題B |
| 発展「√2が無理数であることの証明」 | p.71 | √2が無理数であることの証明背理法 |

第３章「2次方程式」

（配当時間**15時間**）　学校の授業：**11.3時間**，学校の授業以外の場での学習：**3.7時間**

① 2次方程式〔9時間〕　学校の授業：**7.8時間**，学校の授業以外での学習：**1.2時間**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 該当頁 | 学習内容 | 配当時数（そのうち授業が必要な時数） | 学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動とその時数 |
| 章とびら | p.72，73 |  | 1**（０．8）** | p.72，73は予習で取り組み，学習内容の見通しをもつ。**【0.2 時間】** |
| 2次方程式とその解 | p.７４，75 | 2次方程式の定義2次方程式の解の意味と確かめ |
| 因数分解による解き方 | p.76～78 | 因数分解による解き方(x＋a)(x＋b)＝0，x(x＋a)＝0，(x＋a)(x－a)＝0解を１つしかもたない2次方程式(x＋a)2＝0式の整理が必要な2次方程式の解き方 | 2**（2）** |  |
| 平方根の考えを使った解き方 | p.79～81 | 2次方程式x2＝k の解き方2次方程式 (x＋m)2＝k の解き方 (x＋m) 2＝k に変形して解くxの係数が偶数の場合xの係数が奇数の場合 | 2**（2）** |  |
| 2次方程式の解の公式 | p.82～84 | 2次方程式の解の公式を導く解の公式による解き方 | 2**（2）** |  |
| 解が与えられた2次方程式 | p.85 | 解が与えられた2次方程式 | 2**（1）** | p.86「確かめよう」に事前に取り組み，わからない問題を特定しておく。p.86「やってみよう」は，生徒の習熟度に応じて，個別に取り組むことが可能。**【1時間】** |
| 確かめよう | p.86 | 節末の確認問題 |
|  | p.86 | やってみよう |

② 2次方程式の利用〔4時間〕　学校の授業：**3時間**，学校の授業以外での学習：**1時間**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 2次方程式の利用 | p.87～89 | 2次方程式をつくる手順と解き方連続する整数に関する問題長方形の土地と道幅に関する問題正方形の紙から直方体をつくる問題図形の辺上を動く点と面積に関する問題 | 4**（3）** | p.90「確かめよう」に事前に取り組み，わからない問題を特定しておく。p.90「やってみよう」は，生徒の習熟度に応じて，個別に取り組むことが可能。**【1時間】** |
| 確かめよう | p.90 | 節末の確認問題 |
|  | p.90 | やってみよう |

章末〔2時間〕　学校の授業：**０.5時間**，学校の授業以外での学習：**1.5時間**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | p.91 | 基本問題 | 2**（０．５）** | p.91「基本問題」を学校の授業以外の場での学習で取り組む。p.92「章の問題A」に事前に取り組み，わからない問題を特定しておく。p.93「章の問題B」は，生徒の習熟度に応じて，個別に取り組むことが可能。**【1.5 時間】** |
| p.92 | 第3章の問題A |
| p.93 | 第3章の問題B |

第４章「関数y＝ax2」

（配当時間**15時間**）　学校の授業：**12.6時間**，学校の授業以外の場での学習：**2.4時間**

① 関数y＝ax2〔8時間〕　学校の授業：**7.1時間**，学校の授業以外での学習：**0.9時間**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 該当頁 | 学習内容 | 配当時数（そのうち授業が必要な時数） | 学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動とその時数 |
| 章とびら | p.94，95 |  | 1**（0.8）** | p.94，95は予習で取り組み，学習内容の見通しをもつ。**【0.2 時間】** |
| 2乗に比例する関数 | p.９６，９７ | 2乗に比例する関数の意味ボールを転がすときの時間と距離の関係2乗に比例する関数を見つける2乗に比例する関数の決定 |
| 関数y＝ax2のグラフ | p.９8～１０４ | 関数y＝x2の対応表関数y＝x2の点を詳しくとり，グラフの概形をかく関数y＝ax2(a＞0) のグラフの形関数y＝ax2(a＜0) のグラフの形関数y＝ax2のグラフの特徴のまとめ関数y＝ax2の式をグラフから読み取る | 3**（2.8）** | p.105「やってみよう」は，生徒の習熟度に応じて，個別に取り組むことが可能。**【0.2 時間】** |
| p.105 | やってみよう |
| 関数y＝ax2の値の変化 | p.１０６～1１１ | 関数y＝ax2の値の変化最大値・最小値関数y＝ax2の変域関数y＝ax2の変化の割合を求める平均の速さと変化の割合の関係 | 4**（3.5）** | p.110「やってみよう」は，生徒の習熟度に応じて，個別に取り組むことが可能。p.112「確かめよう」に事前に取り組み，わからない問題を特定しておく。**【0.5 時間】** |
| p.１１０ | やってみよう |
|  | 1次関数と2乗に比例する関数の比較 |
| 確かめよう | p.１１２ | 節末の確認問題 |

② 関数y＝ax2の利用〔5時間〕　学校の授業：**5時間**，学校の授業以外での学習：**０時間**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 関数y＝ax2の利用 | p.１13～1１6 | 物体の落下時間と落下距離の関係自動車の制動距離列車と自転車の速さ，グラフの利用図形を移動したときに現れる面積と関数放物線と直線の関係 | 4**（4）** |  |
| いろいろな関数 | p.117 | グラフがつながっていない関数 | 1**（1）** |  |

章末〔2時間〕　学校の授業：**０.5時間**，学校の授業以外での学習：**1.5時間**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | p.118 | 基本問題 | 2**（０．５）** | p.118「基本問題」を学校の授業以外の場での学習で取り組む。p.119「章の問題A」に事前に取り組み，わからない問題を特定しておく。p.120,121「章の問題B」「発展」は，生徒の習熟度に応じて，個別に取り組むことが可能。**【1.5 時間】** |
| p.119 | 第4章の問題A |
| p.120 | 第4章の問題B |
| 発展「放物線と直線の交点の座標」 | p.121 | 放物線と直線の交点の座標の求め方 |

第５章「相似」

（配当時間**23時間**）　学校の授業：**20.1時間**，学校の授業以外の場での学習：**2.9時間**

① 相似な図形〔8時間〕　学校の授業：**7.6時間**，学校の授業以外での学習：**0.4時間**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 該当頁 | 学習内容 | 配当時数（そのうち授業が必要な時数） | 学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動とその時数 |
| 章とびら | p.122，123 |  | 3**（2.8）** | p.122，123は予習で取り組み，学習内容の見通しをもつ。**【0.2 時間】** |
| 相似な図形の性質 | p.1２４～１２９ | 図形の拡大と縮小相似の意味相似な図形の表し方相似な図形の性質裏返したものと相似相似の位置にある，相似の中心の意味相似比比例式の性質相似な図形の求値問題 |
| 三角形の相似条件 | p.130～133 | 三角形の相似条件の考察　3組の辺の比はすべて等しい　2組の辺の比とその間の角がそれぞれ等しい　2組の角がそれぞれ等しい相似な三角形の問題三角形の相似を利用した証明 | 3**（3）** |  |
| 縮図の利用 | p.134，135 | 縮図を利用して距離を求める縮図を利用して高さを求める | 2**（1.8）** | p.135「やってみよう」は，生徒の習熟度に応じて，個別に取り組むことが可能。**【0.2 時間】** |
| p.135 | やってみよう |

② 平行線と線分の比〔7時間〕　学校の授業：**6.5時間**，学校の授業以外での学習：**０.5時間**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 三角形と比 | p.136～139 | 三角形の辺に平行な直線と線分の比三角形と線分の比の求値問題線分の比と三角形の辺に平行な直線三角形の辺に平行な直線の問題 | 3**（3）** |  |
| 中点連結定理 | p.140，141 | 中点連結定理中点連結定理を利用した問題 | 1**（1）** |  |
| 平行線と線分の比 | p.14２，14３ | 平行線と線分の比角の二等分線と線分の比 | 3**（2.5）** | p.144「確かめよう」に事前に取り組み，わからない問題を特定しておく。p.144「考えよう」は，生徒の習熟度に応じて，個別に取り組むことが可能。**【0.5 時間】** |
| 確かめよう | p.144 | 節末の確認問題 |
|  | p.144 | 考えよう |

③ 面積の比，体積の比〔6時間〕　学校の授業：**5.5時間**，学校の授業以外での学習：**0.5時間**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 三角形の面積と線分の比 | p.145 | 三角形の面積と線分の比 | 1**（1）** |  |
| 相似な図形の面積の比 | p.146～148 | 相似な三角形の面積の比相似な多角形の面積の比相似な図形の面積の比の利用 | 2**（2）** |  |
| 相似な立体の表面積の比，体積の比 | p.149～151 | 相似な立体の意味相似な立体の性質相似な立体の表面積の比，体積の比錐体に関する体積の比 | 3**（2.5）** | p.152「確かめよう」に事前に取り組み，わからない問題を特定しておく。**【0.5 時間】** |
| 確かめよう | p.152 | 節末の確認問題 |

章末〔2時間〕　学校の授業：**０．５時間**，学校の授業以外での学習：**１．５時間**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | p.153 | 基本問題 | 2**（０．５）** | p.153「基本問題」を学校の授業以外の場での学習で取り組む。p.154「章の問題A」に事前に取り組み，わからない問題を特定しておく。p.155～157「章の問題B」「発展」は，生徒の習熟度に応じて，個別に取り組むことが可能。**【1.5 時間】** |
| p.154 | 第5章の問題A |
| p.155 | 第5章の問題B |
| 発展「三角形の重心と内心」 | p.156，157 | 三角形の重心とその性質三角形の内心とその性質 |

第６章「円」

（配当時間**10時間**）　学校の授業：**7.7時間**，学校の授業以外の場での学習：**2.3時間**

① 相似な図形〔8時間〕　学校の授業：**7.2時間**，学校の授業以外での学習：**0.8時間**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 該当頁 | 学習内容 | 配当時数（そのうち授業が必要な時数） | 学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動とその時数 |
| 章とびら | p.158，159 |  | 3**（２．7）** | p.158，159は予習で取り組み，学習内容の見通しをもつ。**【0.3 時間】** |
| 円周角の定理 | p.160～１65 | 円周角の意味実測によって円周角の定理を発見する円周角の定理の証明円周角の定理の利用半円の弧に対する円周角円周角の定理の求値問題円周角と弧の性質 |
| 円周角の定理の逆 | p.166～169 | 円の周上，内部，外部円周角の定理の逆の考察円周角の定理の逆を利用した問題 | 2**（2）** |  |
| 円の性質の利用 | p.170～172 | 円の接線の長さの性質とその利用円の接線の作図相似な三角形と円 | 3**（2.5）** | p.173「確かめよう」に事前に取り組み，わからない問題を特定しておく。**【0.5 時間】** |
| 確かめよう | p.173 | 節末の確認問題 |

章末〔2時間〕　学校の授業：**０．５時間**，学校の授業以外での学習：**１．５時間**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | p.174 | 基本問題 | 2**（０．５）** | p.174「基本問題」を学校の授業以外の場での学習で取り組む。p.175「章の問題A」に事前に取り組み，わからない問題を特定しておく。p.176～179「章の問題B」「発展」は，生徒の習熟度に応じて，個別に取り組むことが可能。**【1.5 時間】** |
| p.175 | 第6章の問題A |
| p.176 | 第6章の問題B |
| 発展「円に関するいろいろな性質」 | p.177～179 | 円に内接する四角形の性質円の接線と弦のつくる角方べきの定理方べきの定理と三平方の定理との関連 |

第７章「三平方の定理」

（配当時間**13時間**）　学校の授業：**9.7時間**，学校の授業以外の場での学習：**3.3時間**

① 三平方の定理〔5時間〕　学校の授業：**4時間**，学校の授業以外での学習：**1時間**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 該当頁 | 学習内容 | 配当時数（そのうち授業が必要な時数） | 学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動とその時数 |
| 章とびら | p.180，181 |  | 3**（2.5）** | p.180，181は予習で取り組み，学習内容の見通しをもつ。**【0.5 時間】** |
| 三平方の定理 | p.182～185 | 方眼紙を使って三平方の定理を発見する三平方の定理の証明三平方の定理の別証明三平方の定理を使って辺の長さを求める数直線上に√の長さをとる |
| 三平方の定理の逆 | p.186，187 | 三平方の定理の逆の考察直角三角形であることを示す | 2**（1.5）** | p.187「確かめよう」に事前に取り組み，わからない問題を特定しておく。**【0.5 時間】** |
| 確かめよう | p.187 | 節末の確認問題 |

② 三平方の定理の利用〔6時間〕　学校の授業：**5.2時間**，学校の授業以外での学習：**0.8時間**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 平面図形への利用 | p.188～192 | 長方形の対角線の長さを求める二等辺三角形の高さを求める特別な角の直角三角形の辺の長さの比正三角形の面積 | 3**（2.7）** | p.190「やってみよう」は，生徒の習熟度に応じて，個別に取り組むことが可能。**【0.3 時間】** |
| p.190 | やってみよう |
|  | 三平方の定理と円座標平面上の2点間の距離 |
| 空間図形への利用 | p.193～196 | 直方体の対角線の長さを求める錐体の高さと体積を求める立体の表面上の最短距離の問題 | 3**（2.5）** | p.197「確かめよう」に事前に取り組み，わからない問題を特定しておく。**【0.5 時間】** |
| 確かめよう | p.１９７ | 節末の確認問題 |

章末〔2時間〕　学校の授業：**０.5時間**，学校の授業以外での学習：**1.5時間**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | p.198 | 基本問題 | 2**（０．５）** | p.198「基本問題」を学校の授業以外の場での学習で取り組む。p.199「章の問題A」に事前に取り組み，わからない問題を特定しておく。p.200,201「章の問題B」「やってみよう」は，生徒の習熟度に応じて，個別に取り組むことが可能。**【1.5 時間】** |
| p.199 | 第7章の問題A |
| p.200 | 第7章の問題B |
| p.201 | やってみよう |

第８章「標本調査」

（配当時間**7時間**）　学校の授業：**6時間**，学校の授業以外の場での学習：**1時間**

① 母集団と標本〔6時間〕　学校の授業：**5.5時間**，学校の授業以外での学習：**0.5時間**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 該当頁 | 学習内容 | 配当時数（そのうち授業が必要な時数） | 学校の授業以外の場での学習が可能と考えられる学習活動とその時数 |
| 章とびら | p.202，203 |  | 4**（3.5）** | p.202，203は予習で読んでおき，学習内容の見通しをもつ。p.207「やってみよう」は，生徒の習熟度に応じて，個別に取り組むことが可能。**【0.5 時間】** |
| 母集団と標本 | p.204～209 | 全数調査と標本調査の意味標本の抽出の方法乱数表の使い方乱数さいの使い方 |
| p.207 | やってみよう |
|  | 標本平均の求め方標本平均と母集団の平均の関係 |
| 標本調査の利用 | p.210～213 | 母集団の状況の推定池の鯉の調査英和辞典の見出し語の総数の調査 | 2**（2）** |  |

章末〔1時間〕　学校の授業：**０．５時間**，学校の授業以外での学習：**0．５時間**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | p.213 | 第8章の問題 | 1**（0.5）** | p.213「章の問題」に事前に取り組み，わからない問題を特定しておく。p.214「やってみよう」は，生徒の習熟度に応じて，個別に取り組むことが可能。**【0.5 時間】**「やってみよう」の活動を実際に行う場合は，米粒を食品以外のものに変えることが望ましい。 |
| p.214 | やってみよう |